



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガツさん」

NETWORK

にしかわ

2023

令和5年

1月号

No.802



- 主な内容 -

P2 | 新年のごあいさつ

P4 | 12月補正予算の概要

2022年の個人的「10大ニュース」

- ①40回超えの対話会を開催！
人と人をつなぐ「つなぐ課準備室」設置！
- ②チャレンジ補助1.8億円獲得し
32名の雇用創出！
- ③地域おこし協力隊等、新規で5名！
- ④マイナンバーカード申請ありがとう。
県内1位、全国で38位。
上位市町が挑戦できる補助金を申請！
- ⑤企業との連携協定続々。
民の提案100件超！
- ⑥総合計画づくりは100名以上の
町民が参加！
- ⑦すっだい補助金を新設。
区・民間の20団体が採択！
ママさんの区を越えた活躍に感動！
- ⑧ONSENガストロノミー
食べ歩きツアーを初開催！
- ⑨町民が望む複合施設の建設！
(カフェ、コインランドリー、休憩スペースなど)
- ⑩山菜が減少。
わらび・筍園地を復活中。

次点だけ伝えたい！

- ⑪総合開発(株)や観光協会に、若手が続々入社。
- ⑫ふるさと納税、あきらめずに行動！昨年比を超える。
- ⑬月山なんばこに「超激辛」新登場！
- ⑭台湾語の勉強を始める。



▲③地域おこし協力隊の皆さま



▲⑦縁日、ハロウィンウォークと区を越えた活動も応援します！



▲⑩未経験は現場・実践あるのみ(小山)



▲⑫よく頑張った大陽くん(中央)



▲⑭台湾の方々優しい



▲⑩ゆずりはの会の皆さま

「うさぎ」は月山の神のお使いと言われています。
縁のある兎のように、ピョンピョンと前に進みます！
「対話」と「利他」で、がんばります！

新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。昨年は、8年ぶりの企業誘致の成功に加え、町民の皆さまと町の計画づくりが実現するなど、私の「すっだい」ことが実現できました。

今年の干支は、うさぎ年。西川町の代名詞。月山の神のお使いは「うさぎ」。うさぎは、悪運から逃れる力があると言われています。西川町にとって縁起よい年、月山のご縁年の年として、町民の皆さまの「すっだい」ことを実現できるよう、町外の方々と連携しチャレンジしていきます。

今年の抱負

- 🔥 昨年、大小46回の対話会は継続し、日程は町報に掲載
- 🔥 アイデア勝負の補助金を得て、西川町での雇用を創出
補助金：R3：0.1億円→R4：1.8億円→R5：5億円
・間沢区での複合施設の建設
・入間区での木質バイオマス発電付き次世代型ハウス園芸
・小山・岩根沢を中心とした山菜園地再整備
・大井沢地区の地域商社設立支援
- 🔥 町立病院維持に向けた方針を早期に提示
- 🔥 区・町民の「すっだい」ことを実現する事業を継続
- 🔥 地域間留学を実現し「教育の西川」を広報
- 🔥 タブレット全戸配布を通じて、安心便利な暮らしを追求



▲公募に応じた83名の町民がまちづくり協議会に参加



▲がんばる職員にお礼します

覚悟と実行

年末はアイデア勝負の補助金申請に向けてパソコンに向かう時間が長くなりました。自身が描くアイデアで、国から5億円獲得できるかできないかを決まると思うと色々考え、肩こりもあり、しびれも感じます。

身体がしんどいけれどがんばるのは・・・笑顔を見たいからです！喜びを分かち合いたいから。職員を中心とした官民チームで悶絶しながらも対話を重ね、補助金を獲得した時は抱き合うほどの歓喜がたまりません！できるだけ、民のセクターで事業を行い、町内に資金・経験を収める。

私は、昨春にお約束した通り、公務員時代に得た地方創生11年の行政経験と公私で得た2,500人以上の人脈を西川町(利他)に使います。西川町民や西川に関わるすべての皆さまのご多幸と健康を祈念しまして、ごあいさついたします。ともに前に歩みを進めましょう！

②安心・安全なまちづくり

除雪全般に要する経費／2,000万円

町道及び公共施設駐車場の冬季除雪作業において使用する除雪機械（ドーザ・ロータリ）の不具合や故障箇所を修繕し、効率的に確実な除雪を行います。



③物価高騰対策

社会福祉施設等原油価格等物価高騰対策支援事業／760万円

燃料高騰や電気料値上げの影響を受けている介護施設及び福祉施設事業者（老人福祉センター・ケアハイツ西川・とこしえ西川）の経済的負担を軽減し、福祉サービスの安定した事業継続の支援を行います。



町公共施設光熱水費・燃料費の増額／2,152万4千円

物価高騰に伴い、町公共施設である役場庁舎、大井沢支所、にしかわ保育園、保健センター、町立病院、小中学校、交流センターあいべ、町民体育館、歴史文化資料館及び公共下水道浄化センターの電気料、燃料費の予算を増額します。

④新型コロナウイルス感染症対策

テレワーク用職員端末整備事業／1,323万7千円

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するほか、ウイズコロナ下においても町の業務を切れ目なく継続するため、職員が役場以外の場所で執務できるテレワーク用の端末（ノートパソコン）を整備します。

その他の補正

交流センターあいべ大ホール音響設備改修事業／246万5千円

音響設備の経年劣化により音質が低下し、各種公演などに支障をきたしていることから、大ホールの音響設備を改修します。



生産年齢人口増加を目指して――

令和4年度12月補正予算の概要

予算規模 1億2,176万1千円

12

月9日の町議会定例会において、令和4年度西川町一般会計補正予算（12月補正予算）が議決されました。「生産年齢人口の増加」の実現に向け、引き続き「稼ぐ・稼ぎ続けるまちづくり」にかかる政策経費のほか、「安心・安全なまちづくり」や物価高騰対策、新型コロナウイルス感染症対策経費を盛り込んだ予算となりました。12月補正予算の主な事業について紹介します。



12月補正予算の4つのポイント

- ① 稼ぐ・稼ぎ続けるまちづくり
- ② 安心・安全なまちづくり
- ③ 物価高騰対策
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策

① 稼ぐ・稼ぎ続けるまちづくり

移住定住に要する経費／420万円

三大都市圏に所在する民間企業などの社員を受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、地域独自の魅力や価値の向上、地域経済の活性化につながる業務に従事する「地域活性化起業人制度」を活用し、SDGs・ゼロカーボン施策や道の駅にしかわの経営に係る支援を行っていただきます。

関係人口創出拠点整備事業／534万6千円

町に来なくても何らかの関わりをもつ関係人口を創出するための拠点として、都市部の駅中に町の食材を提供するカフェを開店するための先行事例調査、メニュー開発や食材供給体制、運営体制などの事業計画の立案を行います。



町の各事業や取り組みについてご紹介します。

新たに1名の協力隊員、 2名の地域活性化起業人が着任！

西 川町の地域おこしにさらに新たな力が加わり、今後、空き家などの活用を通じた地域活性化につながる事業や、関係人口の創出・拡大に向けた取り組みを展開していく予定です。また、今年度から初めて導入する企業人材派遣制度により、地域活性化起業人(※)も10月から着任し、協力隊と連携して、地域活性化につながる取り組みを行っていきます。
※6カ月以上3年以内の期間、継続して派遣元企業から受入自治体に派遣され、地方圏へのひとの流れを創出することを目指し、地域独自の魅力や価値の向上、地域経済の活性化、安心・安全につながる業務に従事する者。



地域おこし協力隊
中川 拓夢さん
ながわ たくむ
令和4年11月25日

東京都八王子市出身の21歳、空き家の活用やイベントを通じた関係人口の拡大などに取り組みます。具体的には、コケを活用した事業や、農業の取り組み、また、劇団の誘致などをやりたいと考えています。
私の取り組みに興味のある方、ぜひお声がけください。一緒に作り上げていきましょう。これからよろしく願いいたします。



地域活性化起業人
堀 豊さん
ほり ゆたか

滋賀県出身の45歳、妻と息子2人の父、仲間から「ほりっくす」と呼ばれ、滋賀で建築業界に15年以上、フリーランス8年、株式会社CASEに2年半在籍しております。フードバンク活動で多くメディアに取り上げられた際、株式会社CASEと出会い、現在の活動を開始し、その中でも得意分野は家のリフォームと“おせっかい”です。子どもが喜ぶことを考えるのが大好きでPTA会長もやっております。



地域活性化起業人
澤田 敏之さん
さわだ としゆき

滋賀県出身で、バックパック（リュックサック）で世界一周後、中学校教員を経て「つなぐ」をテーマにテントサウナを活用したリトリートツアーや自然教育の村、みんなのファームヴィレッジを立ち上げました。
豊かな自然や文化を生かした「住みたい」「行きたい」魅力的なまちづくりに取り組みたいと思っております。

西川中学校における部活動の 地域移行について

11 月9日(水)に「部活動の土日の地域移行について」対話会を開催しました。37名の参加者が6グループに分かれ、活発に意見を交換しました。

【課題・心配なこと】

- ・指導者の確保。現在、外部コーチがいない部の休日の受け皿は、平日の指導を担う先生方との関係。
- ・中体連などの大会への参加や練習試合の持ち方。
- ・移動する手段の確保。土・日曜日のバス運行は、親の送迎ができない時はあきらめなければならなくなる。
- ・運動中の事故やけがの対応、責任の所在。
- ・チームプレイの練習が少なくなる。体力の低下。
- ・吹奏楽部は土日活動ができない

【活動についての希望・ニーズ】

- ・複数の指導者体制で生徒の活動が途切れないように。外部指導者や部活動指導員、各協会やOBとの連携を図る。各種目の技術指導だけでなく、トレーナーなど全ての種目に共通する人材もいるとよい。
- ・部活によって差が大きくなるように。競技力の向上をめざせば、活動の回数や時間を増やすことは必要だ。
- ・西村山広域での合同練習。自校にない種目にも参加できるように。
- ・小学生と中学生の合同練習。

くなるのか。
・部活をしなくなる生徒が多くなるのでは。
・有料化になった場合の費用負担など。

高校生や社会人との交流も。
・勉強以外で体験できることをなくしたくない。勝ち負けを味わうこと、努力の大切さを知ることも大事なことなど。
【持続可能な、よりよい環境整備へのアイデア】
・指導者、外部コーチなどへの報酬増、待遇の改善、制度をしっかりと作る。全国に先駆けて制度をPRし、優秀な人材を確保する。
・学校と地域をつなぐコーディネーターの配置。
・指導者同士や学校と指導者の連携強化。生徒が困らないよう、指導への共通理解を図る場を設定する。
・大人と一緒に活動。大人も教える側だけでなくプレーヤーとして活動。
・西村山地区の部活サポートNPO設立。市町が助成金を出して、人件費や送迎のサポートをするなど。



▲多くの方々から対話会に参加していただきました

学生の活動だけにとどまらず、町の中でスポーツや文化活動を協働でできるような組織や運営体制ができないか検討し、西川町方式の移行のあり方を提案してまいります。今後も対話会を開催しますので、ぜひ、ご参加ください。

●お問い合わせ

教育委員会学校教育課
0237-74-2114



町の各事業や取り組みについてご紹介します。



町では、町民の皆さんと一緒に考えながら、皆さんが必要とする施策を実現するため、各種対話会を開催しています。町民・町外の方、誰でも参加できます！ぜひ、皆さんのご参加をお待ちしております。

くぜ対
だひ話
さいご会
い参に
！加

対話会カレンダー

1/15(日) 13:30~16:30

第3回産業振興複合施設整備に係る町民ワークショップ

- 目的:産業振興複合施設整備に向けたワークショップを開催
- 会場:役場第2庁舎第3・4会議室
- 対話の方法:ワークショップ
- 【問】商工観光課 ☎0237-84-0566

1/17(火) 19:00~

町長との対話会(海味)

- 目的:地区の現状と課題の把握
- 会場:海味公民館
- 対話の方法:座談会
- 【問】総務課 ☎0237-74-2119

1/21(土) 14:30~

まちづくり町民会議報告会

- 目的:第7次総合計画案の説明
- 会場:交流センターあいべ
- 対話の方法:報告会
- 【問】政策推進課 ☎0237-74-2112

1/24(火) 19:00~

高校・大学などの就学支援についての対話会

- 目的:西川町に帰ってきてけローン(仮称)返済補助金案、西川町育英奨学金の緩和
- 会場:役場第2庁舎第3・4会議室
- 対話の方法:座談会
- 【問】学校教育課 ☎0237-74-2114

1/29(日) 10:30~

町長との対話会(綱取)

- 目的:地区の現状と課題の把握
- 会場:綱取公民館
- 対話の方法:座談会
- 【問】総務課 ☎0237-74-2119

2/4(土) 14:30~

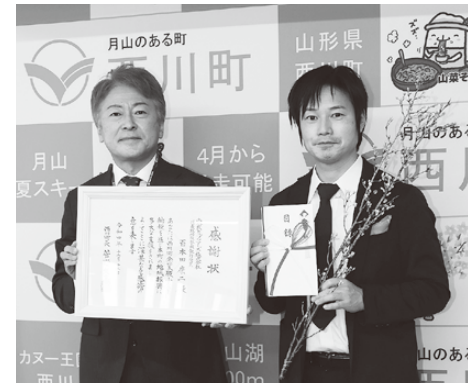
第3回西川町総合政策審議会

- 目的:第7次総合計画案の説明
- 会場:役場第2庁舎第3・4会議室
- 対話の方法:審議会
- 【問】政策推進課 ☎0237-74-2112

5月中旬 予定

西川バスストップの移動

- 目的:高速バスストップ移動要望の把握
- 会場:役場第2庁舎第3・4会議室
- 対話の方法:ワークショップ
- 【問】建設水道課 ☎0237-74-2116



東武トップアース様

東武トップアース株式会社様(本社:東京都墨田区)から企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただき、菅野町長から代表取締役副社長執行役員・脇坂克也様に感謝状が贈呈されました。いただいたご寄附は、観光地再生(廃墟解体等)に活用させていただきます。

▼寄附金額:500万円



㈱ローヤルエンジニアリング様

株式会社ローヤルエンジニアリング様(本社:東京都豊島区)から企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただき、代表取締役・水登健介様に感謝状が贈呈されました。いただいたご寄附は、観光地再生(廃墟解体等)に活用させていただきます。

▼寄附金額:800万円

企業版ふるさと納税に感謝状を贈呈

■午後4時20分発(谷地高校前行)

河北病院線について

県立河北病院発(道の駅にしかわ行)は山交バスの撤退した平成29年度以降、西川町と寒河江市とで路線距離の按分により経費負担し共同運行の形を取っており、一便増便するには年間約100万円の経費が増額となることから協議が必要となります。

寒河江駅発(道の駅にしかわ行)
■午後2時台の増便
■午後5時台の増便
2便の増便については、寒河江市と協議を進めています。「道の駅にしかわ・寒河江駅線」は山交バスの撤退した平成29年度以降、西川町と寒河江市とで路線距離の按分により経費負担し共同運行の形を取っており、一便増便するには年間約100万円の経費が増額となることから協議が必要となります。

寒河江駅線の増便について

第2回路線バスミーティング「路線バス・交通の対話会」を受けて



11月7日の対話会の様子

●お問い合わせ
町民税務課
☎0237-74-4118

午後4時23分)の増便(デマンド運行)を1月5日から開始します。利用する場合は当日の10時まで予約ください。このように、よりよい路線バスの運行について、関係機関で協議し、可能な限りいただいたご意見を反映できるように取り組んでまいります。

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。政策推進課情報推進係
0237-74-4403 joho@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

第46回西川町壮年バレーボール大会開催

11月27日、第46回西川町壮年バレーボール大会が町民体育館で開かれ、町内3チームが出場し熱戦を繰り広げました。会場は、和やかながらも緊張感のある雰囲気でも、家族の応援をうけた選手たちは思い思いのプレーを楽しんでいました。

試合は3チームの総当たり戦で行われ、MAZAWAチ



▲熱戦が繰り広げられました

待ちに待ったスキーシーズン到来

町民スキー場安全祈願祭

12月16日、西川町民スキー場の安全祈願祭が行われ、リフトや同センターを管理運営する月山観光開発(株)の社員や地権者、スキー関係者などがシーズン中の無事故を祈りました。シーズン中は、月山スキークラブによるスキー教室やバツジテスト、町民スキー大会などが開催される予定。ゲレンデの積雪状況によりですが3



▲荒天のため、ロッジの中で神事が行われました

月21日まで営業する予定です。

西川町広報委員会を開催

11月22日、今年度第1回目の西川町広報委員会(後藤武郎委員長)が開催されました。本委員会は、町報やお知らせのほか、ホームページ、SNSなどの町が行う広報や情報発信について様々な角度からご意見やご提案をいただき、広報事業の改善につなげることを目的に年2回開催されています。

委員からは、「菅野町長就任



▲広報委員会が開催されました

以降、情報発信が活発になった「SNSを見られない方にも配慮すべき」などの意見が寄せられました。

青山潤一氏から町に寄付金100万円

「西川町の各種施策の推進に役立ててほしい」と、12月15日に青山潤一氏(寒河江市)から町に100万円のご寄付をいただきました。



▲菅野町長に寄付金を手渡す青山潤一氏

ひと足早い春を西川からお届け 啓翁桜出発式を開催

今期の啓翁桜の初出荷となった12月13日、啓翁桜出発式が吉川の促成施設で行われました。



▲ドライバーの方に安全な出荷をお願いします

町では平成29年度から啓翁桜生産拡大のため生産団地を造成。今年度で計画していた園地整備のすべてが完了し、

町内の園地は34・1ヘクタールとなりました。町内の今期の販売計画数量は前年を上回る41万3千本を予定しています。

GASSANの冬・オープニングイベント

にしかわGASSANの冬・オープニングイベントが12月17日、弓張平公園パークプラザで開催され、総勢50名が参加し、本格的な冬季イベントの幕開けとなりました。オープニングイベント終了後には、スノーシューパークがスタートし、30名の参加者がスノーシューを楽しみました。



▲にしかわGASSANの冬・オープニングイベント

役場の玄関に手作り門松 シルバー人材センターの皆さんが製作

12月21日、西川町シルバー人材センターから役場や交流センターあいべ、町立病院など町内6つの施設に門松を寄贈していただきました。

門松は同センターの会員の方々によって制作されたもので、松や梅、ユズリハなどの縁起の良い植物があしらわれた計11基が各施設の新年の玄関を彩りました。



▲シルバー人材センターの皆さんから門松を寄贈していただきました

2022年版 西川町の人の動き

※2022年1月1日～12月26日

●出生：10人 ●死亡：120人



●転入：87人 ●婚姻：3組
●転出：111人



お問い合わせ
町民税務課 ☎0237-74-4118

ふるさと納税返礼品の新商品ご紹介



啓翁桜

ここ西川の地で技術を駆使し、春の美しい桜を寒さ厳しい時期に咲かせようと愛情いっぱいかけて育ててまいりました。

寄附金額

10,000円



ふる里の月山切り餅

山形県産水稲もち米100%を使用し、白と杵でつきあげた本物のお餅で「コシ」が違います。

寄附金額

5,000円



月山メイプルシロップ

月山山麓に自生するイタヤカエデの樹液100%のメイプルシロップです。濃縮してもサラサラでこくのある甘さは絶品です。

寄附金額

36,000円



この「西川町ふるさと納税」制度は、西川町をふるさとと思い、愛する皆さまからの寄附をお願いし、個性豊かで特色のある地域やふるさとづくりを進めるために取り組むものです。いただいたご寄附は小中学生の給食費の無償化や、高校生を持つご家庭への支援など、町の重要な施策に活用されます。

個性豊かで特色ある地域やふるさとづくりに一歩一歩取り組んでいきますので、ぜひ、皆さまのご支援をお願いします。

詳しくは で検索!

町ホームページに詳細を掲載していますので、あわせてご覧ください。



今月の表紙

園児たちが家族に踊りや歌などを披露する「ぶなの森発表会」が12月17日、にしかわ保育園で開催されました。観覧できる人数を制限するなど、コロナ対策を実施しながらの開催となったものの、ステージでは元気な子どもたちの姿が見られ、また参加した家族からは大きな拍手が子どもたちにも送られていました。



編集雑記

新年あけましておめでとうございます。皆さんにとって昨年はどんな一年だったでしょうか。卯年は兎の跳ねる姿から飛躍の年とも言われていますが、飛躍する年にするためにも、兎に角まずは心身ともに健康で過ごしていきたいですね。

(黒田)

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp>をご覧ください。



12/26 現在の人口と世帯数 人口 男 2,304人 女 2,470人 計 4,774人 世帯数 1,789 ()は前月比 (-1) (-7) (-8) (-2)